

はせがみ にしやち 馳上遺跡・西谷地b遺跡発掘調査説明資料

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター 平成24年8月11日

調査要項	
遺跡名(番号)	はせがみ 馳上遺跡(県番号 202-560・202-562) にしやち 西谷地b遺跡(県番号 202-571)
所在地	山形県米沢市大字川井字元立・道下
時代・種別	古墳時代、奈良・平安時代、中世 集落遺跡
起因事業	東北中央道(米沢～米沢北間) 主要地方道米沢高畠線川井IC工区
調査依頼者	国土交通省山形河川国道事務所 置賜総合支庁建設部道路計画課
調査機関	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
現地調査	平成24年5月30日から11月16日まで
調査面積	5,218㎡(うち国交省委託分 2,150㎡)
調査担当者	調査研究員 草野潤平(現場責任者) 調査員 山木巧 佐藤智幸
調査成果(8月11日現在)	
検出遺構	竪穴住居跡・掘立柱建物跡・河川跡・溝跡・土坑・柱穴
出土遺物	はじき すえき 土師器・須恵器・陶器・砥石・古銭(永楽通寶)など

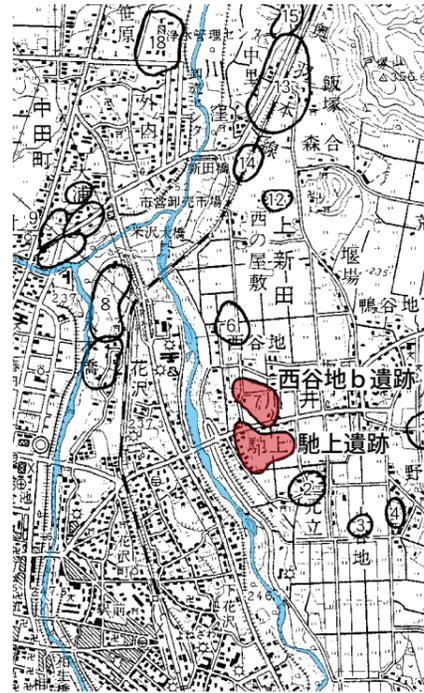


図1 遺跡位置図(1/50,000)

1 調査の概要

馳上遺跡・西谷地b遺跡は、最上川の支流である羽黒川右岸の後背湿地上に立地する集落遺跡です(図1)。これまでの調査で、古墳時代、奈良・平安時代、中世の遺構・遺物が確認され、途中で空白時期を挟みながら、われわれの祖先が長期間にわたって営んできた生活の痕跡を窺うことができます。

今年度は、高速道路建設に伴う馳上遺跡第4次調査(19～21区)と追加インターチェンジ建設に伴う馳上遺跡第5次・西谷地b遺跡第3次調査(A～D区)を同時並行で実施しています(図2・写真1)。馳上遺跡では平成12年度と平成21・22年度で約31,800㎡、西谷地b遺跡では平成21・22

年度に約15,600㎡がそれぞれ調査されており、今回の調査面積を含めると両遺跡あわせて52,000㎡以上に及ぶ広大な集落の景観が明らかとなります。

調査は11月まで行う予定ですが、調査区を一部埋め戻しながら掘り下げ・記録を進めていかざるを得ないため、最も調査面積が広く遺構が密集していると考えられる19・20区の様子が明らかな現時点で発掘調査説明会を開催することとしました。

2 見つかった遺構と遺物

今回の調査では、調査区内を蛇行する河川跡・流路跡や奈良・平安時代の竪穴住居跡・掘立柱建物跡のほか、溝跡、土坑、柱穴などが検出されています(図3)。

竪穴住居跡は現時点で8棟ほど確認していますが、全体がわかるのはA区の2棟と19区の1棟です。A区の2棟は、一辺3mの小型住居跡と3×5mの住居跡が重なり合っています(写真9)。19区の住居跡は、一辺5.5mを測ります(写真11)。いずれもカマドや煙り出しの煙道が南側に付属し、カマド周辺を中心に甕などの土器が押しつぶされて出土しました(写真10)。

掘立柱建物跡では、倉庫と考えられる2×2間の総柱建物跡や3×3間の側柱建物跡などが見つかっています(写真5・6)。なかには柱の直径よりやや小さい内黒土器の皿を柱穴の中ほどに水平に埋めたものもあり(写真7)、建物が廃絶した後に柱を抜いて意図的に土器を埋納した痕跡と考えられます。

柱穴はほかにも数多く見つかっており、特に中世に属すると考えられる小型のものが目立ちます。これらの柱穴群を区画するように走る溝跡も検出されましたが、過去の西谷地b遺跡調査で確認されたような漆器や内耳土鍋などは出土していません(写真2～4)。

3 まとめ

今回の発掘調査によって、南側の馳上遺跡から北側の西谷地b遺跡にかけて、遺構が途切れることなく存在し、両遺跡が密接に関連していることをあらためて確認することができました。

奈良・平安時代には河川間の安定した場所に竪穴住居跡や掘立柱建物跡が築られますが、西谷地b遺跡南端から19区北側にかけてのエリアが両遺跡全体のなかで中核となっていることが見てとれます。

残るB～D区、21区の調査を進めることで、両遺跡の集落の様相がより鮮明になると期待されます。

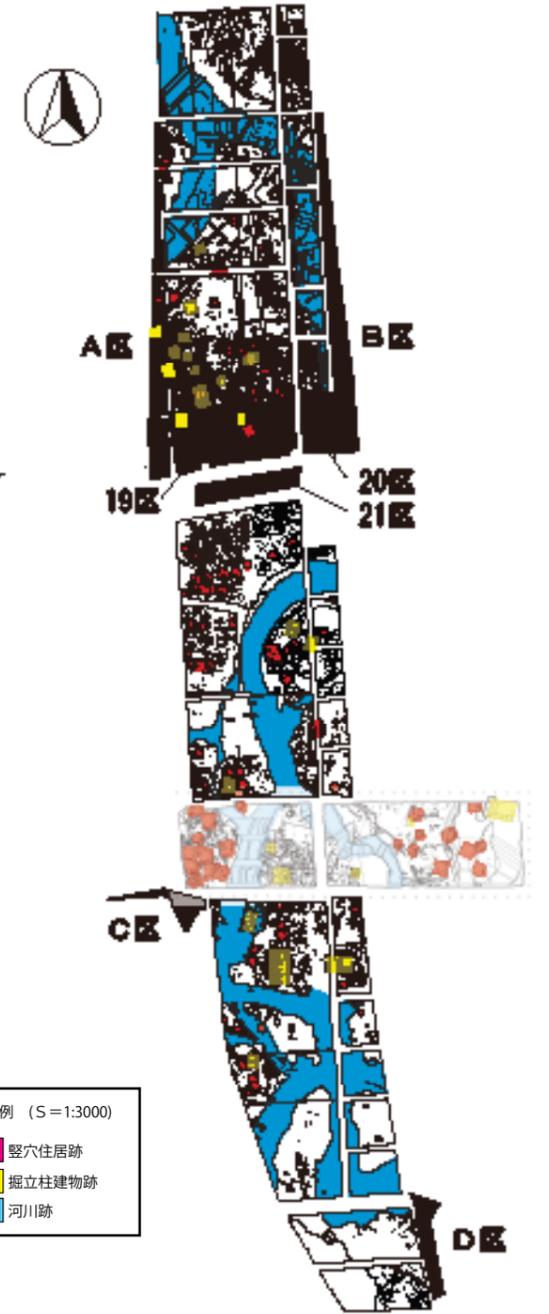


図2 調査区概要図(1/3,000)



写真1 調査区周辺の遠景(南から)

溝跡



写真2 19区の遺構検出状況（東から）



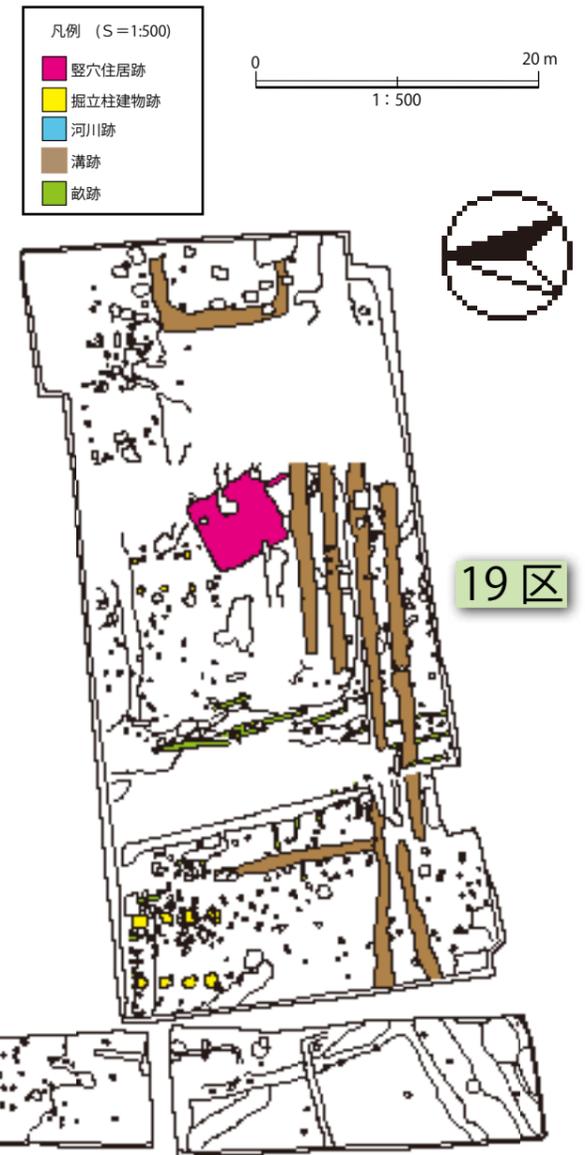
写真3 19区南側の溝跡（北東から）



写真4 19区東側の溝跡（北東から）

図3 A区・19区遺構配置図（1/500）

※現在調査中のため、図面は作成途中



掘立柱建物跡



写真5 A区中央部の空中撮影（右が北）



写真6 A区の総柱建物跡（東から）



写真7 土器を埋納した柱穴断面（西から）

河川跡



写真8 河川跡の土層堆積状況（北東から）

竪穴住居跡



写真9 A区の重なり合う竪穴住居跡（北から）



写真10 カマド周辺の土器出土状況（北から）



写真11 19区竪穴住居跡の調査状況（北から）